

# 事例紹介大学等のプログラム概要【学生支援のテーマ別での実施】

## 《キャリア形成・就職支援》

### 1. 東京学芸大学（平成19年度選定）

プログラムの名称	学芸カフェテリアによる学修・キャリア支援 －全学の援助資源の活用と最適化された学生支援プログラムの開発
（プログラムの概要） 本学は、「有為の教育者」の人材育成を目標とし、教育課程と一体化され、キャリア発達課題に対応した総合的・段階的な学生支援を行ってきた。平成19年度には従来の学生相談支援センターのキャリア支援部門を学生キャリア支援センターとして独立させ、これら2センターと学内のすべての学生支援組織と指導教員を統括する総合学生支援機構を設置する。新たな取組では、全学ファシリテーターが学内の潜在的な援助資源を発掘し、社会的ニーズに対応した多様な支援メニューを開発し、ウェブ上に開設された学芸カフェテリアで提供する。学生はキャリアプランナーのガイダンスを受け、自分の学修計画やキャリア発達課題に応じて、学芸カフェテリアから支援メニューを複数選択し、自分の最適な支援計画を立案できる。学生は自身のキャリア発達課題に気づき、解決に向けた選択・計画・行動のプロセスを経て、自らの支援コンピタンスをも高めていく。	

### 2. 東京女学館大学（平成20年度選定）

プログラムの名称	卒業成長値を高める「10の底力」
（プログラムの概要） 3～4年次中心の就職・進学支援をさらに発展・充実させるために、1年次から学生それぞれの潜在的能力を向上させていくことを目的として「10の底力」向上プログラムを導入し、一人一人のニーズにあったオーダーメイドのキャリア教育に取り組む。 本プログラムは、本学の特色である少人数教育の下で行うことにより、その効果を最大限に活かすことができ、学力偏差値とは異なる隠れた能力や社会性を高めることができる。「10の底力」として、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、国際感覚・異文化理解能力、外国語運用能力等を取り上げ、それぞれの授業・講座において学力とともに、伸ばすことのできる能力を事前に学生に提示する。学生は Semester ごとに各能力の向上度を自己評価し、また教員は学生の評価を行う。卒業までの4年間でそれぞれの能力の開発支援を重点的に行い、学生満足度を高め、また、卒業成長値を高めていく。	

### 3. 広島工業大学（平成19年度選定）

プログラムの名称	技術系女子学生の継続的なキャリアデザイン －ライフサイクルを視野に入れた支援プログラムの構築
（プログラムの概要） 本取組は、技術系女子学生のキャリア形成・就業支援から卒業後の再チャレンジ支援まで、女性技術者としてのライフサイクルを視野に入れた継続的な支援プログラムを構築するものです。 本学女子学生キャリアデザインセンター（JCDセンター）を中心に以下の事業を展開し、女性技術者としての意識とスキルを高めます。 ①キャリア形成支援 JCDセンター学生の自主企画による市民や企業人とのものづくり交流や合宿セミナーなどを実施し、女性技術者としての素養を育成 ②就業支援 女子学生の潜在能力を顕在化させた進路指導と女性技術者特別教育プログラムの構築実践、「女性技術者のための望ましい就業環境」の企業への提案 ③再チャレンジ支援 結婚出産などで離職を余儀なくされた卒業生の再チャレンジを支援するための人材バンク、スキル教育プログラムの構築 ④技術系大学に学ぶ女子学生用の特別教育プログラムの開発・試行・評価及び正課教育への展開	